



ハイライトよねやま 192

2016年3月11日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 下半期の寄付状況 —

2月までの寄付金は前年同期と比べ3.8%増、約4,200万円の増加です。普通寄付金が0.6%増、特別寄付金が5.6%増となりました。前年度との単月寄付額で比較すると多少減額しましたが、累計額では引き続き直近7年間の中で最高額を維持し、下半期も好調に推移しています。多くのロータリアン、学友からのご支援に心より御礼申し上げます。今年度も残り3カ月半ほどとなりました。今後ともご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

さまざまな寄付のカタチ — 20年前の恩返しから —

2月、大学の指導教官（匿名希望）から70万円もの寄付をいただきました。この先生は、アメリカから毎年米山奨学会へ寄付しつづけている米山学友、張虞安さん（1998-2000/交野RC）の昔の指導教官です。※張虞安さんについては、『ロータリーの友』1月号“よねやまだより”（横組み p30-31）もご覧ください

「張さんが中国薬科大学からの交換留学生として、私の研究室に配属されたのがご縁の始まりでした。彼が博士課程へ進学する際、たしか制度上の理由で、1年間、入学を待ってもらうことになりました。張さんは経済的に極めて厳しい状況で、その生活ぶりに私も心配し、時折援助したこともありました。その後、米山奨学生に受け入れていただき、彼の経済的ピンチが救われ安堵すると同時に、貴奨学会の重要性を認識し、感激したことを今もはっきりと覚えています。あれから20年、今回思いがけず、私の退任祝いにと、張さんから多額のお金をいただきました。何かに役立てたいと思っていたところ、彼が貴奨学会に毎年寄付していることを知りました。彼の想いを大切に、さらなる奨学金の広がりをお祈りしながら、張さんの名義で寄付をさせていただきます」

ご存じですか？ ホームカミング制度

「ホームカミング制度」は、各地区が米山学友を招へいし、地区大会などでその活躍ぶりを広くロータリアンへ紹介していただく制度です。開始から8年、最近では地区大会のほか、インターシティミーティング、会長エレクト研修セミナー、クラブ米山委員長セミナー、米山奨学生終了式・



オリエンテーションなどに登壇してもらい、ロータリアンにも奨学生にも米山奨学事業の意義を改めて認識していただく機会となっています。

2015-16年度は3月現在までに12地区からのべ15人がこの制度で招かれ、ロータリーとの絆を深め旧交を温めました。



また、4人のよねやま親善大使も、地区やクラブからの要請に応じて全国各地へお伺いしています。当会事務局まで気軽にご相談ください。

気仙沼大島へ継続的支援 — 第 2590 地区米山学友会 —

東日本大震災から5年——。ロータリークラブや地区では、今もさまざまな形で被災地への支援活動を行っていますが、第2590地区米山学友会（会長：ジャンマニーガム、アモンサクさん）も、震災の翌年の2012年から、宮城県の気仙沼大島への復興支援に協力しています。

きっかけは、気仙沼大島で瓦礫撤去などのボランティア活動を行った同地区の米山学友、キョウ雷さんや呂学龍さんが、学友会としても支援しようと呼びかけたことに始まります。最初の活動として、同地区の後援を得て、2012年5月に横浜市内でチャリティー・コンサートを開催し、集まった寄付金を気仙沼大島の災害対策本部長に贈呈しました。翌2013年3月には、中国人画家・常嘉煌さんが創作した油絵を贈呈に、同11月には現地の社会福祉協議会や教育委員会の要請に応じてミニコンサートを開催するために、学友らが現地を訪問しました。2014年9月には、気仙沼市内の小学校で国際交流授業を実施。そして、昨年4月には気仙沼大島つばきマラソンに参加するとともに、前夜祭としてミニコンサートを開催して、企画を盛り上げました。これまで2回、現地を訪れて活動に参加した前会長のエソダ・バスネットさんは「気仙沼の皆さんの笑顔に、こちらが勇気や元気をもらうことが多かったです。私の母国ネパールも昨年、大地震に見舞われ、大きな被害を受けました。日本・ネパールの両被災地の皆さんと手を携え、学友と協力しながら、復興支援に尽力したいと思います」と語りました。



ベトナムの学友が視覚障害者と交流

ベトナムの学友グループが3月6日、ホーチミン市内の視覚障害者福祉施設を訪問し、寄付金や日用品を贈呈しました。

今回参加したのは、米山学友が16人、友人や家族が8人、日本から第2790地区松戸中央RC会員が5人です。背中に「超私の奉仕」と刺繍されたおそろいのポロシャツを着用し、学友グループから同施設へ寄付金5,260,000ベトナムドン（約27,000円）のほか、ミルク、油、即席麺が、松戸中央RCからは歯ブラシ300本が寄贈されました。そのお礼にと、着物ドレスに身を包んだ施設の子供が可憐な歌声で「さくらさくら」を歌い、踊りや演奏を披露してくれました。ベトナムにはまだ学友会はありませんが、2014年からグループを結成し、ホーチミンを中心に継続して奉仕活動をしています。今後もベトナム人若者への奨学金支給など、さらなる活動を検討中です。



Go Go Seoul! ～【ソウル国際大会情報】～

- ◆ 米山分科会の時間が決定しました！ **5/30（月）15:30～17:00**です。ぜひご参加ください。
- ◆ 速報！！学友たちの企画による「**米山学友合同懇親会 in Seoul**」が**5/28（土）18:30～**開催されることになりました。会場は、ホテルノボテルソウル江南です。詳細は後日、HPにアップします。